

サムライカレーSDGs in Cambodia 参加者の声



サムライカレーSDGsとは何ですか？

A

株式会社スパイスアップ・アカデミアが運営する、カンボジアの首都・プノンペンでビジネス体験とボランティア活動を行う、2週間の海外インターンシップ・プログラムです。



サムライカレーSDGsを知ったきっかけと参加理由は？

A

学内で行われた説明会に参加して知りました。本学の長い冬休みを有効に活用したいと思っていて、何か新しいことに挑戦したかったから参加しました。



カンボジアで2週間、どんなことをしましたか？

A

大きな流れとしては、売れる商品を探すためのニーズ調査→商品開発・作成→販売→収益金の寄付です。これをグループで行いました。ニーズ調査では、現地学生への聞き込み、試食会等を行いました。販売は王立プノンペン大学の中にあるCambodia-Japan Cooperation Centerで開催される“Kizuna Festival”で行い、収益金は、「愛センター」という現地のフリースクールに寄付しました。調査や販売の際に英語を使う機会もあって良かったです。

2週間のうち3日間ある休日には、現地でできた友だちと一緒にバスで世界遺産のアンコールワットまで行きました。そこで見た朝日は忘れることができない美しさでした！

日本では食べられないカンボジアの料理も堪能しました！



安全面・衛生面は大丈夫でしたか？

A

現地の屋台やお店でよく食べ物を買っていたのですが、お腹を壊すことは一回もなく、スリや盗み等もなく意外と安全でした。



どんな力や能力が身についたと感じますか？ またどういう学生におすすめですか？

A

日常で起こる様々な問題を分析して色々な角度から考える日々を通して、問題解決能力が身についたと感じました。海外にちょっとでも興味のある学生や刺激的な非日常の体験をしたい学生におすすめです！



試食会を経て販売準備



Kizuna Festivalで販売。収益金は現地学校に寄付。



休日はシェムリアップ（アンコールワット）へ。